

公益財団法人横須賀芸術文化財団
平成 28 年度第 2 回理事会
議 事 録

- 1 開催日時** 平成 28 年 6 月 10 日（金）10 時 30 分から 11 時 40 分まで
- 2 開催場所** 横須賀市産業交流プラザ 第一会議室
- 3 出席者** 理事総数 6 名
出席理事 4 名（代表理事・理事長を含む。）
小沢一彦（理事長）、木村忠昭（副理事長）、
原田恵次（常務理事）、竹内英樹
監事総数 2 名
出席監事 2 名
鈴木嘉明、山寄進康

4 議 長 小沢一彦（代表理事・理事長）

5 決議及び承認事項

- 議案第 3 号 平成 27 年度事業報告及び決算（案）について
議案第 4 号 平成 28 年度補正予算について
議案第 5 号 定時評議員会の招集について
議案第 6 号 事務局職員退職手当規程の一部改正について

6 報告事項

- ・平成 28 年 3 月 1 日以降の職務の執行状況について

7 議事の経過概要及びその結果

定刻に小沢理事長が議長席に着き、天沼業務部長が開会を宣言。

定款第 33 条第 1 項の規定に基づき、小沢理事長を議長に選出。

小沢理事長が、定款第 34 条に規定する定足数を満たしていることを確認し、本理事会が有効に成立した旨を宣言。

併せて、定款第 37 条第 2 項に基づき、小沢理事長、木村副理事長、鈴木監事及び山寄監事を議事録署名人に指名した。

小沢理事長が各議案を上程し、事務局に説明を指示し、議案の審議に入った。

（1）議案第 3 号 平成 27 年度事業報告及び決算（案）について

大倉事業課長（事業報告）及び水野管理課長（決算）が詳細を説明。

説明によると、平成 27 年度は、横須賀芸術劇場と横須賀市立ベイスクエア・パーキングの新たな指定管理期間 8 年間の 2 年目にあたる。更なる横須賀の芸術文化の創造及び発展並びに文化的な潤いのある地域社会の実現のため、各事業に取り組んだ。芸術普及事業については、横須賀市の要請により「横須賀製鉄所（造船所）創設 150 周年記念事業」参加公演として、日仏友好をキーワードに 2 公演を追加して開催した。育成事業については、新たな取り組みとして、若手演奏家を市内の小中学校に派遣しコンサートを行う「若手アーティスト派遣プログラム」

を実施した。施設管理事業については、利用促進を図りつつ、修繕による使用環境の改善と適格なサービスにより、より利用しやすい施設の維持に努めた。その他事業全般において、常に市民に親しまれる劇場として地域の活性化及び芸術文化の振興に寄与した。

決算額については、事業の見直し等により、収入、支出ともに対予算現額で減額となったため、全体として収支差が抑制され、かつ適正な公益目的事業比率を確保した。また、新たな施設予約・チケット予約システムの更新費用及び事業資金確保のため、舞台・音楽芸術普及特定資産の一部取崩しを行うなど財源確保に努めた。

次に、小沢理事長の求めに応じ監査報告があり、理事の職務の執行について監査した結果、事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、内部管理体制の整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行が相当であること、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示していることが報告された。

本議案に関連し、次の質疑応答があった。

- ・小沢理事長：事業について、不況という理由だけでは努力が足りない。開館から20年以上経ち、確実に世代交代が始まっており、プログラムの古さがはっきりしてくる。収益の悪いものは切っていく等、思い切って手を打っていく必要がある。施設については、適切な修繕を行い、健全に使っていくという主旨で取り組んでいくこと。
- ・竹内理事：施設利用実績について、大劇場の稼働率で5%、利用者数で18,000名程度前年度と比べて落ちているが、どう分析しとらえているか。
- ・天沼業務部長：一つの原因としては、平成26年度は、コンクール、貸館の長期利用など平日利用が多かったが、平成27年度は少なかった。土日の利用は安定しているため、貸館主催者に平日をいかに借りてもらうか努力していく必要がある。
- ・原田常務理事：最近吹奏楽の練習や学校の行事等、横浜の学校の利用が増えてきた反面、横須賀の学校の利用が少ない。学校に直接働きかけるなど、認知度を上げる努力を行い、利用促進を図っていく。
- ・小沢理事長：横須賀は学校が少ないが、神奈川歯科大学や県立福祉大等あるので、もっとPRしていくこと。その他様々な機会に利用してもらえるよう努力していく必要がある。
- ・鈴木監事：決算の数字を見る限り、経常収支が厳しい中何とか踏ん張って経営していると評価する。最近のジャンルや嗜好の変化を的確にとらえるよう努力されたい。

以上、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり承認

された。

(2) 議案第4号 平成28年度補正予算について

水野管理課長が詳細を説明。

議案第3号により平成27年度決算(案)が承認されたため、決算確定前に承認された平成28年度予算の前期繰越収支差額を平成27年度決算(案)の次期繰越収支差額と一致させる必要があり、補正資金収支予算を編成したい旨説明。

理事から質疑がなされなかったことから、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

(3) 議案第5号 定時評議員会の招集について

水野管理課長が詳細を説明。

- ・用件 平成28年度第2回評議員会
- ・日時 平成28年6月27日(月)10時00分から
- ・場所 横須賀芸術劇場 大劇場 楽屋8
- ・目的である事項

(1) 議案審議

- ・平成27年度事業報告及び決算について

(2) その他報告事項

理事から質疑がなされなかったことから、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

(4) 議案第6号 事務局職員退職手当規程の一部改正について

水野管理課長が詳細を説明。

横須賀市の職員退職手当条例の一部改正に伴い、財団事務局職員退職手当規程の一部を改正することについて説明。

理事から質疑がなされなかったことから、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

(5) 報告事項

・平成28年3月1日以降の職務の執行状況について

天沼業務部長が報告。

芸術劇場指定管理業務に係る横須賀市宛て月次及び年次報告を行ったことなどを報告。特に、横須賀製鉄所(造船所)創設150周年記念事業への参加及び協力、また、小学校に若手アーティストを派遣した訪問コンサートについて、横須賀市からも高評価を受けた旨報告された。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、11 時 40 分、議長が閉会を宣し解散した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事及び監事が記名押印する。

平成 28 年 6 月 29 日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

議 長

代表理事（理事長）

小 沢 一 彦

(代表者印)

代表理事（副理事長）

木 村 忠 昭

印

監 事

鈴 木 嘉 明

印

監 事

山 寄 進 康

印